

FCC REVIEW

〈特集2〉

ドメイン転換

事業領域の再設定が独創を生む

〈100年経営〉対談

岩井 俊憲

ヒューマン・ギルド 代表取締役
アドラー心理学カウンセリング指導者

〈特集1〉

ステージアツプサイクル

成長の壁を突破する



〈100年経営〉対談 Vol. 39

アドラー心理学のポジティブ思考を経営に生かす

03

岩井 俊憲

ヒューマン・ギルド 代表取締役
アドラー心理学カウンセリング指導者

× **若松 孝彦**

タナベ経営
代表取締役社長

09 Pick up Topics

2020 その先の未来へ

10

〈Vol. 14〉 アルバイトスタッフに教えられたこと 長尾 吉邦

11 【特集1】

ステージアップサイクル

成長の壁を突破する

〈CASE 1〉

13

ゆいまーる沖縄

徹底した「沖縄ブランド、づくりで
「沖縄の価値」を全国に発信

〈CASE 2〉

17

タティシ広美社

理念、新分野、承継で情報伝達業へ躍進
看板屋からデジタルサイネージの旗手に

〈CASE 3〉

21

日本産業カウンセラー協会 会長(代表理事)

小原 新氏

中間管理職が変わることで強い組織が生まれる

〈METHOD〉

25

中小企業がステージアップを

実現するために必要な五つのテーマ 浜西 健太

29 【特集2】

ドメイン転換 事業領域の再設定が 独創を生む

〈CASE 1〉

31

金子コード

フロンティア精神を継承し、ゼロから1を生み出してナンバーワンに育てる

〈CASE 2〉

35

スマートバリュー

社会の公器を追求し続けて事業転換に成功、経営再建から東証1部上場への飛躍

〈CASE 3〉

39

ディライト

常識を変える挑戦で急成長 奈良県ナンバーワンのプライダル企業

新連載

- 43 経営者に贈るアドラー心理学の知恵 岩井 俊憲
〈Vol. 1〉 経営におけるマインドとスキル

- 45 メンタルアップコミュニケーション 人が辞めない職場づくり 大野 萌子
〈Vol. 3〉 マネジメントが楽になる考え方

新連載

- 47 21世紀のラグジュアリー論 イノベーションの新しい地平 安西 洋之
〈Vol. 1〉 ラグジュアリーを狙う意義

- 51 旗を掲げる！ 地方企業の商機 北村 森
〈Vol. 50〉 「プロのプライド」の伝え方

チームコンサルティング対談

- 55 〈Vol. 50〉 **北ガスジェネックス × タナベ経営**
IT化と訪問型サービスで地域の課題解決企業へ

戦略リーダーの時代

- 61 〈Vol. 49〉 **愛知海運産業**

〈コンサルタント・レビュー 1〉

- 63 **中期ビジョンとブランディングが企業を変える** 番匠 茂

〈コンサルタント・レビュー 2〉

- 65 **「働き方改革」の前に“稼ぎ方改革”の実行を** 御堂 裕一

〈コンサルタント・レビュー 3〉

- 67 **社会課題への取り組みが共感を生む** 井上 禎也

〈建設イノベーションフォーラム2019レポート〉

- 69 **選ばれる建設業になるイノベーションを推進する**

- 71 これに注目！

- 72 ブックレビュー

- 73 次号予告／編集後記



特集1

ステージアップサイクル 成長の壁を 突破する

若手経営者や新興企業は、さまざまな「成長の壁」とぶち当たる。峨々たる難壁^{がが}を突破する上で必要なことは何か。ミッション・ビジョン、ブランディング、メンタルモチベーションなどの機能に着目し、ビジネスを成長へと導く「ステージアップサイクル」を考える。







2018年度、6年連続で過去最高の入域観光客数を更新した沖縄県。その一方、県内企業は本土の大手資本との厳しい競争にさらされ、経営体力が問われている。そんな中、沖縄の工芸品・食品の企画プロデュースで成長を続けているのが、ゆいまーる沖縄だ。

琉球の自立を ベースに新たな 価値を提案

せることで、沖縄の経済的な発展を実現しようと志したのが出発点だ。経営目的の一つである「琉球の自立を目指す」には、玉城氏の思いが込められている。

「表向きは明るい観光地ですが、沖縄には400年以上もの間、侵略されたり戦地となったりした歴史があります」。そう話すのは、ゆいまーる沖縄の代表取締役社長・鈴木修司氏だ。

沖縄では壮絶な歴史の中、伝統工芸や芸能、食に加えて自然崇拜、祖先崇拜といった精神文化が、今日まで伝えられてきた。伝統文化が消えゆきそうになっている今、それらを守り、育み、広めるため、取り扱う商品は沖縄で生まれたものにこだわっている。

さらに、土産として買われる品だけではなく、日常生活で使ってもらえる品となることを狙って、デザイン性や質の高いものを厳選。商品が人々の生活に身近になれば、沖縄の手仕事が長く愛されていくとの考えからだ。

ダイナミックな色遣いの琉球ガラスや、コバルトブルーの唐草模様があしらわれた焼き物。伝統工芸品の卸・販売を手掛けるゆいまーる沖縄の店舗には、沖縄の手仕事で生み出された工芸品などを中心に、「琉球・沖縄でつくられたもの」、「企画・デザインされたもの」が並ぶ。

同社は1988年に創業。創業者の故・玉城幹男氏が、集団就職先の東京で沖縄出身者に対する差別と直面したことをきっかけに、琉球文化にこだわり沖縄で作られたものを流通さ

徹底した「沖縄ブランド」づくりで

「沖縄の価値」を全国に発信

ゆいまーる沖縄